

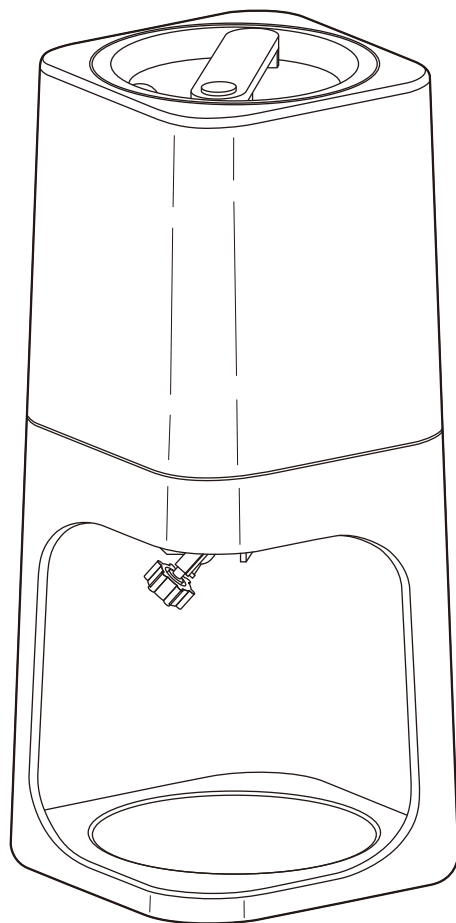
保証書付

家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途での使用はしないでください。
思わぬ事故の原因になります。

電動ふわふわ氷かき器

YSIA-F25



も く じ

安全上のご注意	1~3
各部の名称	4
使いかた	5~9
かき氷のレシピ	10
お手入れと保管	11~15
各用品の取りはずしかた	11~12
各用品の取り付けかた	13~14
故障かな?と思ったら	16
仕様	17
アフターサービスについて	17
MEMO	18
保証書	裏表紙

最新情報はオリジナルブランドページ

YAMAZEN BOOK を
チェック!



随時情報を更新中!

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社氷かき器をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになったあとは、大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



⊘記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



Ⓛ記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



警告



家庭用コンセント (AC 100V) 以外での使用、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

禁止

●家庭用コンセント (AC 100V) 以外で使用すると故障したり、延長コードやタコ足配線などで定格を超えると、コンセントが異常発熱して、火災の原因になります。



分解、修理、改造をしない

分解禁止

●火災・感電・けがの原因になります。
※修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



電源コードや電源プラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

禁止

●感電・ショート・火災の原因になります。



異常、故障、破損があったり、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

指示に従う

●火災・感電・けがの原因になります。

※異常・故障例

17ページの「点検のお願い こんな症状はありませんか?」を参照し、異常がある場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。



電源プラグは、根元まで確実に差し込む

指示に従う

●感電・発熱・火災の原因になります。



定期的に電源プラグのほこりをふき取る

指示に従う

●電源プラグにほこりなどがたまるとう湿気などで絶縁不良となり、感電・ショート・火災の原因になります。
※電源プラグのほこりは、乾いた布でふき取ってください。



使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜く

●けがや絶縁劣化による、感電・漏電・火災の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

●感電・ショート・けがの原因になります。















氷ケース・氷押さえ・本体の取り付けや取りはずし、お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く







プラグを抜く

●不意に動作してけがをしたり、感電・ショートの原因になります。

警告

 <p>電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり引っ張ったり、たばねて使用しない</p> <p>●感電・火災の原因になります。 ※結束バンドは必ずはずしてください。</p> <p>禁止</p>	 <p>電源コードの上に重いものや本体をのせたり、挟み込まない</p> <p>●電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p>本体を水に入れたり、水をかけたり丸洗いをしない</p> <p>●故障・感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>水ぬれ禁止</p>	 <p>安全スイッチを指や棒などで押さない</p> <p>●不意に動作してけがをしたり、故障の原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p>すき間や開口部にピンや針金などの異物を入れない</p> <p>●感電・けが・故障の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>氷以外のものを入れたり、削ったりしない</p> <p>●けが・破損・故障の原因になります。 ※氷を削る以外の目的で使用しないでください。</p> <p>禁止</p>
 <p>運転中に本体の取りはずしをしない</p> <p>●けが・故障の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>削り残った氷を取り出すときやお手入れのときは、カッター刃や氷押さえのスパイクに注意する</p> <p>指示に従う ●けがの原因になります。</p>
 <p>お子さまや取り扱いに不慣れな方だけで使用しない 乳幼児の手の届く場所で使用したり保管しない</p> <p>●感電・けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>カッター刃や氷押さえのスパイクは鋭利なので直接手で触れない</p> <p>●けがの原因になります。</p> <p>接触禁止</p>
 <p>包装用ポリ袋は、お子さまの手の届かない場所に保管する</p> <p>●誤って顔にかぶったり、巻きついたりして窒息する原因になります。</p> <p>指示に従う</p>	 <p>カッター刃の取り付けネジは絶対にゆるめない</p> <p>●けが・故障の原因になります。 ※カッター刃を調節するときは、調節つまみで調節してください。</p> <p>禁止</p>

注意

 <p>定格時間2分以上の連続運転はおこなわない</p> <p>●安全装置がはたらいて運転できなくなることがあります。</p> <p>禁止</p>	 <p>電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない</p> <p>●感電・ショート・発火の原因になります。 ※必ず電源プラグを持って引き抜いてください。</p> <p>禁止</p>
 <p>電源コードを持って本体を引っ張らない</p> <p>●設置場所が傷ついたり、破損・故障・発火の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>運転が完全に停止したのを確認してから電源プラグを抜き差しする</p> <p>●けが・故障の原因になります。</p> <p>指示に従う</p>
 <p>付属の製氷カップを電子レンジ・オープンレンジ・食器洗い乾燥機で使用しない</p> <p>●やけど・変形・破損の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>冷凍庫から取り出したばかりの氷に直接触れない</p> <p>●氷が皮膚に密着し、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>

⚠ 注意



付属の製氷カップ以外で作った氷を入れて削らない

禁止

- 破損・故障の原因になります。
- ※市販のロックアイスや家庭用冷凍庫の製氷皿で作った角氷は削らないでください。



うなるような運転音がしたり、氷が削れず停止したときは、すぐに運転を中止する

指示に従う

- 故障・けがの原因になります。



40℃以上のお湯で氷押さえ・氷ケース・スタンド・製氷カップを洗ったり、熱い食材を入れない

禁止

- 変色・変形・破損の原因になります。



氷ケース・氷押さえ・本体を取りつけていない状態で運転しない

禁止

- けが・故障の原因になります。
- ※氷ケース・氷押さえ・本体を確実に取りつけ、氷を入れてから運転してください。



次のような場所では使用しない

禁止

- 故障・感電・ショート・火災・爆発の原因になります。
- 火気（コンロやストーブ）など熱源の近くや直射日光のあたる所
- 高温（40℃以上）になる所
- 厨房や工場などの油や油煙が発生する所
- ほこりや金属粉の多い所
- 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などの引火性のものがある所



カラ運転をしない

禁止

- けが・故障の原因になります。



安定した水平な場所で使用する

指示に従う

- 不安定な場所で使用すると落下や転倒して、破損・故障・けがの原因になります。



水しぶきや蒸気が直接本体にかかる場所で使用しない

禁止

- 故障・感電・ショートの原因になります。



氷を入れたまま本体を倒したり、さかさまに持ったり、置いたりしない

禁止

- 本体に水が入り、感電・故障の原因になります。



運転中に持ち運ばない

禁止

- けが・故障の原因になります。



持ち運ぶときは、本体とスタンドをしっかりとっておこなう

指示に従う

- 落下すると破損・故障・感電・けがの原因になります。
- ※ロックハンドルを持って、持ち運ばないでください。



落としたり、強い衝撃を与えない

禁止

- 破損・故障・感電・けがの原因になります。



掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹きつけない

禁止

- 破損・故障・けがの原因になります。



本製品は一般家庭用です絶対に業務用には使用しない

禁止

- 本製品に無理な負担がかかり、破損・故障・火災の原因になります。



お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきんなどは使用しない

禁止

- 破損・故障・けがの原因になります。
- ※お手入れは11～15ページの「お手入れと保管」を参照してください。

各部の名称

ロックハンドル

- 本体をスタンドに取りつけたりはずすときに回します。
※ロックハンドルを持って持ち運ばないでください。

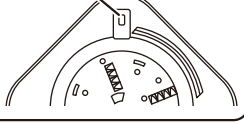
運転スイッチ

- 運転するときは、ここを押します。

本体

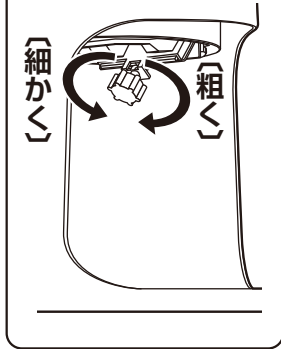
安全スイッチ

- 本体内側に安全スイッチがあります。
- 安全スイッチ



調節つまみ

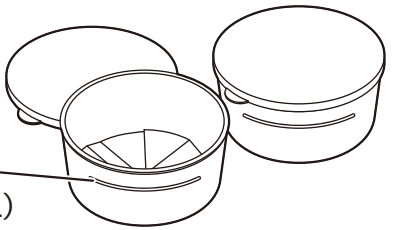
- カッター刃の高さを調節し、削り具合を調節します。



■付属品

ふたつき製氷カップ (2個)

水位線 (約200mL)



- 本書は、イラストを用いて説明しています。実際の製品とは、多少異なることがあります。

警告



電源コードの上に重いものや本体をのせたり挟み込まない

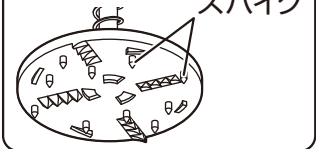
- 電源コードが破損し感電・ショート・火災の原因になります。

電源コード

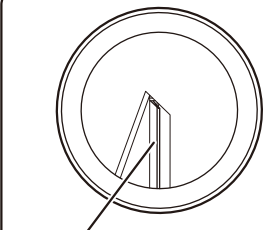
電源プラグ

氷押さえ

- 氷を押さえながら回転します。

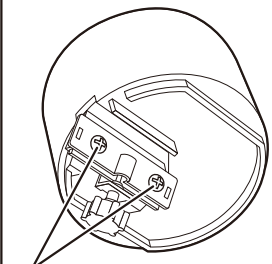


氷ケース



カッター刃

- 氷ケースに取りつけられています。
- ※取りはずさないでください。



カッター刃の取り付けネジ

- カッター刃を固定しています。
- ※絶対にゆるめないでください。

スタンド

使いかた

※はじめてご使用になるときは、11～15ページの「お手入れと保管」を参照して各部品を取りはずし、各部品と製氷カップを水洗いしてください。

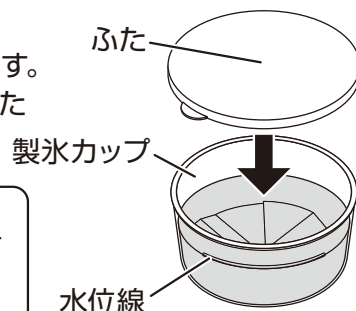
氷を作る

1 調理物を付属の製氷カップに入れる

- 10ページの「かき氷のレシピ」を参照し、食材を調理します。
- 製氷カップの水位線（約200mL）まで調理物を入れ、ふたをして冷凍庫に入れます。

ご使用上の注意

※氷を作るときは、付属の製氷カップの水位線（約200mL）以上調理物を入れないでください。
凍ったとき膨張して製氷カップが破損したり、氷が厚くなり本体が取り付けにくくなる原因になります。



2 十分に凍らせてから、製氷カップを冷凍庫から取り出す

- 製氷カップを冷凍庫から取り出し、調理物が十分に凍っているか確認します。

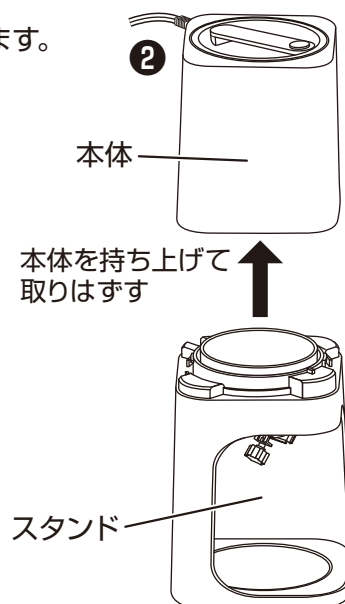
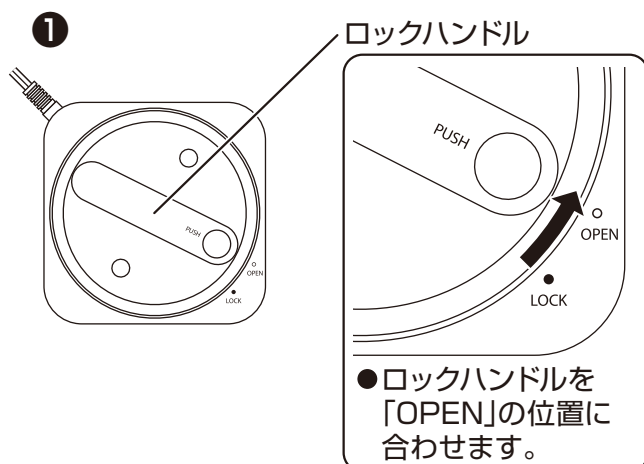
ご使用上の注意

※十分に凍っていない状態の氷を削ると、水っぽいかき氷ができたり、氷がカラ回りして削れない場合がありますので、十分に凍らせてください。
水だけで作る氷よりも調理物で作る氷は、糖分が入っているため十分に凍るまで時間がかかることがあります。
※凍った状態で長時間冷凍庫で保存すると、霜がついてかき氷に適した氷ではなくなります。凍ったらできるかぎり早く削ってください。

かき氷を作る

1 スタンドから本体を取りはずす

- 1 下図を参照し、ロックハンドルを「OPEN」の位置に合わせます。
- 2 スタンドを手で押さえ、本体を持ち上げて取りはずします。



使いかた

2 カッター刃の高さを低くする

- 右図を参照し、氷ケースの調節つまみを左（反時計回り）に止まるまで回し、カッター刃を一番低い位置まで調節します。

お知らせ

- カッター刃が氷を押し上げて本体が取りつけにくくなったり、カッター刃が氷に引っかかりモーターに負担がかかるのを防止するために、カッター刃の高さを低く調節します。

警告



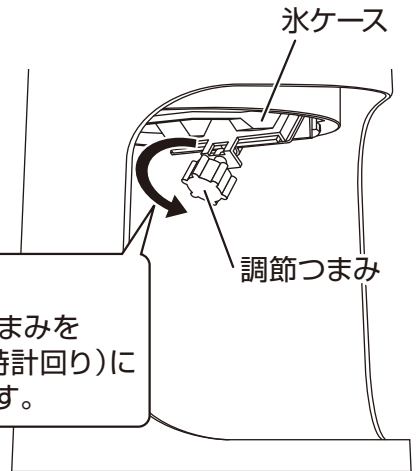
カッター刃や氷押さえのスパイクは鋭利なので直接手で触れない

- けがの原因になります。

接触禁止

細かく

- 調節つまみを左（反時計回り）に回します。



3 氷ケースに氷を入れる

- 製氷カップのふたをはずし、製氷カップを裏返して氷を押し出し、氷ケースに氷を入れます。
※氷を押し出すときは、製氷カップの底面中央部を指で押してください。
- 氷が押し出しにくいときは、製氷カップの外側を温めると取り出しやすくなります。

ご使用上の注意

- ※製氷カップから氷を取り出すときは製氷カップをたたきつけたりしないでください。
- ※氷を氷ケースに入れるときは、製氷カップの底面側が上になるように入れてください。
(製氷カップ底面の凹凸の形がある方が上になるように入れる)
- ※水だけで作る氷と比べて、調理物で作る氷は、糖分が入っているため柔らかく溶けやすいので冷凍庫から取り出したらすぐに削ってください。

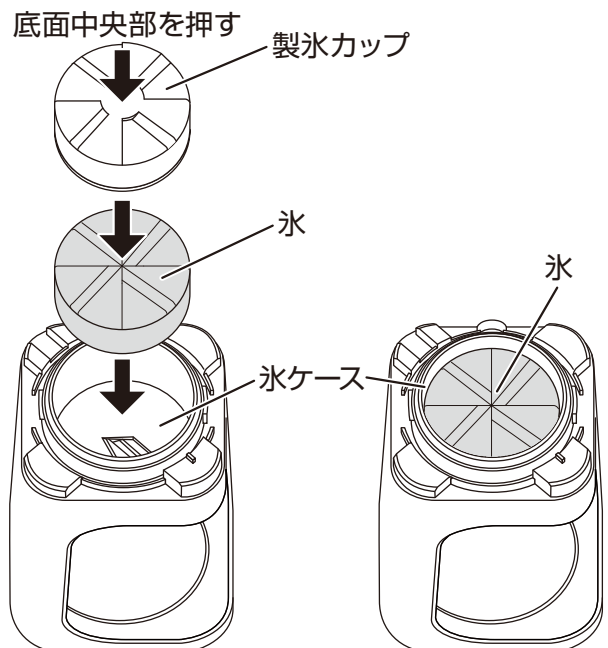
警告



氷以外のものを入れたり、削ったりしない

- けが・破損・故障の原因になります。
- ※氷を削る以外の目的で使用しないでください。

禁止



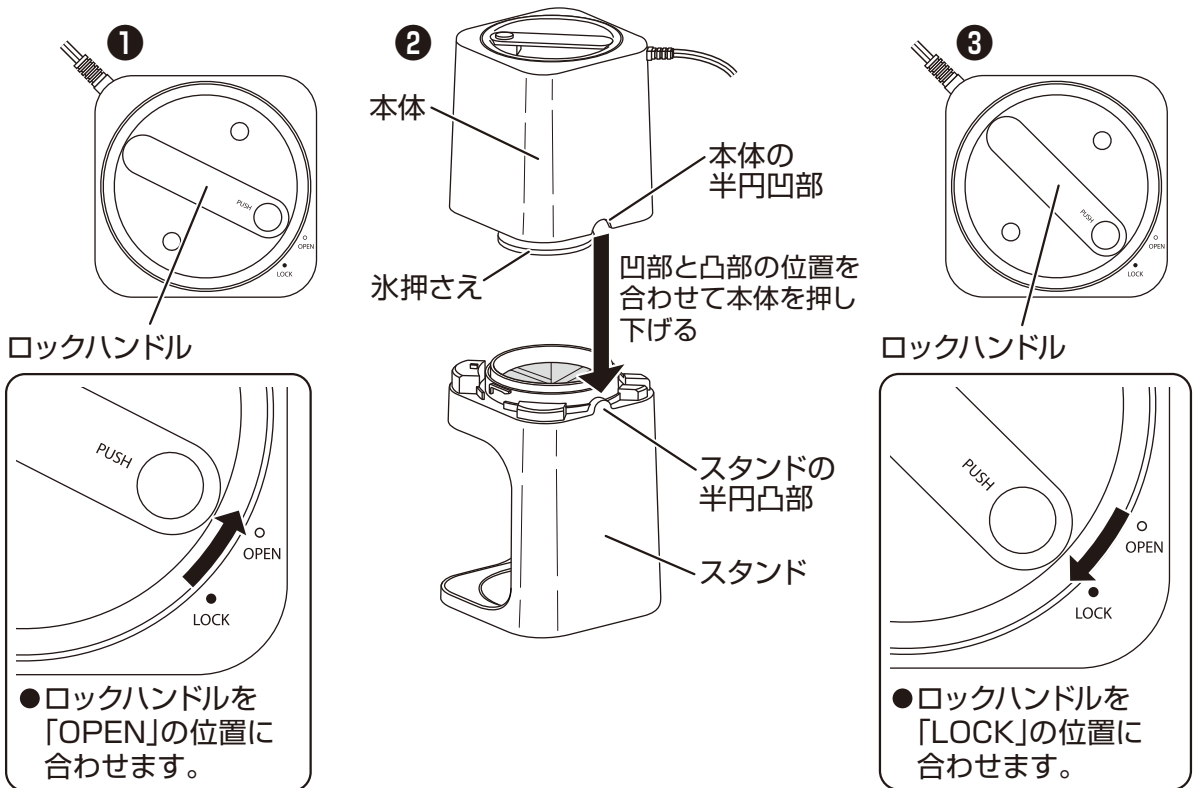
使いかた

4 本体をスタンドに取りつける

- ① 下図を参照し、ロックハンドルを「OPEN」の位置に合わせます。
- ② 本体を手でしっかり持ち、本体の半円凹部とスタンドの半円凸部の位置を合わせ、氷押さえで氷を押さえつけながら、本体をスタンドに押し下げます。
- ③ 本体とスタンドが密着するまで押し下げたら、ロックハンドルを「LOCK」の位置に合わせ本体を固定します。

ご使用上の注意

※本体とスタンドは確実に取りつけてください。
ばねの反発力で氷を押さええているため、本体とスタンドが確実に取り付けられていないと本体が勢いよくはずれる場合があります。



5 電源コードの結束バンドを必ずはずし、電源プラグを家庭用コンセント (AC 100V) に差し込む

- 電源プラグを根元まで確実に家庭用コンセント (AC 100V) に差し込みます。

ご使用上の注意

※運転スイッチを押した状態で電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
急に動作してけがの原因になります。

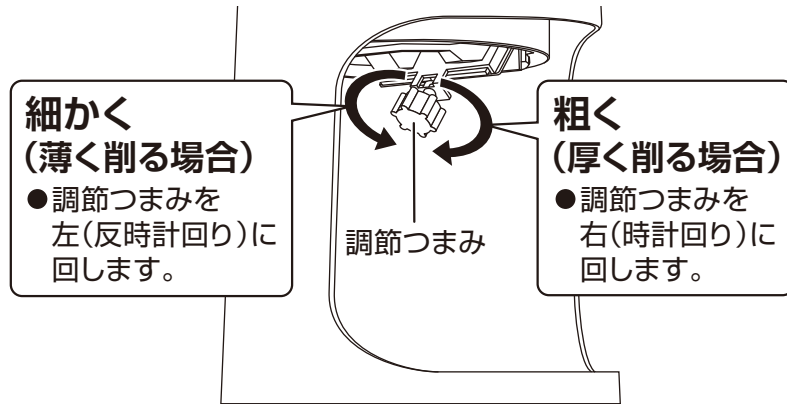
使いかた

6 氷の削れ具合を調節する (カッター刃の高さを調節する)

- スタンドに受け皿を置きます。
- 運転スイッチを押して氷を削りながら、カッター刃の高さを調節します。
(運転スイッチを押している間だけ運転します)
※ 下図を参照し、調節つまみをゆっくり回して薄くスライス状に削れるように調節してください。
- ◎ 本書の前項でカッター刃を一番低く調節しているため、最初は氷が削れませんがカッター刃の高さを調節することで徐々に削れます。

ご使用上の注意

※ カッター刃が高すぎる状態で氷を削ると、うなるような運転音がしたり、氷が削れなかったりしてモーターに負荷がかかり、故障の原因になりますのでカッター刃が高くなりすぎないように注意してください。



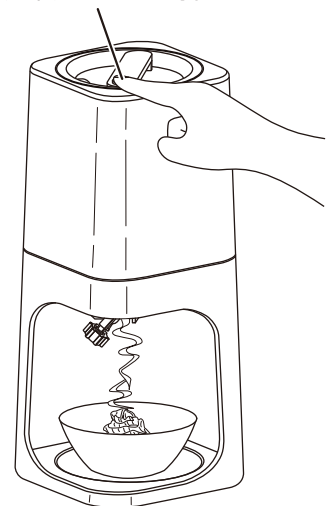
7 調理する (氷を削る)

- 運転スイッチを押して氷を削ります。
- かき氷が片寄る場合は、受け皿を回転させながら削ります。

ご使用上の注意

※ 氷の状態やレシピにより、削れ具合が異なる場合があるので必要に応じてカッター刃の高さを調節してください。
※ 氷がなくなっても、自動的に運転が止まりませんので、氷が削れなくなったらすぐに運転を停止してください。
※ 削った氷が受け皿からこぼれることがあるので、ぬれても良い場所か受け皿の下にふきんなどを敷いて削ってください。

運転スイッチを押す



⚠ 注意



禁止

定格時間2分以上の連続運転はおこなわない

- 安全装置がはたらいて運転できなくなることがあります。



指示に従う

うなるような運転音がしたり、氷が削れず停止したときはすぐに運転を中止する

- 故障・けがの原因になります。

使いかた

8 削り終わったら電源プラグをコンセントから抜く

- 運転が完全に停止したのを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。

9 スタンドから本体を取りはずし、氷ケースに残った氷を捨てる

- ① 下図を参照し、ロックハンドルを「OPEN」の位置に合わせます。
- ② スタンドを手で押さえ、本体を持ち上げて取りはずします。
- ③ スタンドを手で押さえ、氷ケースを上引き抜いて取りはずし、残った氷を捨てます。

知っておいていただきたいこと

- 本製品の構造上、氷が薄く削り残りますが故障ではありません。
※ 続けて氷を削るときは、残っている氷を必ず捨て新しい氷を入れて削ってください。
削れ残った氷の上に新しい氷を入れて削ると、氷がカラ回りして削れません。

ご使用上の注意

- ※ 使用後は、氷押さえなどに付着した水が垂れることがありますので、ふきんなどの上に置いて水切りをしてください。

警告



指示に従う

削り残った氷を取り出すときやお手入れのときは、カッター刃や氷押さえのスパイクに注意する

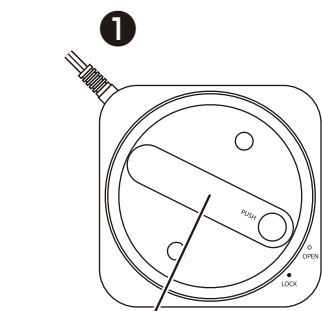
- けがの原因になります。



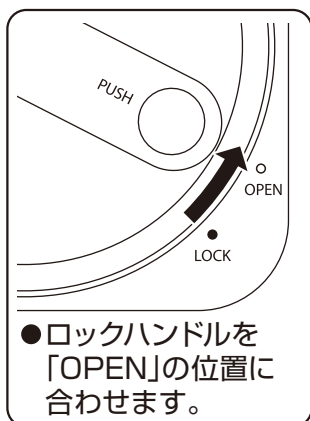
禁止

運転中に本体の取りはずしをしない

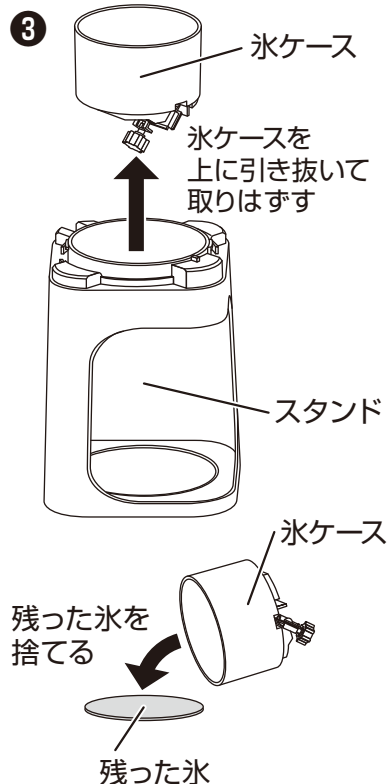
- けが・故障の原因になります。



ロックハンドル



- ロックハンドルを「OPEN」の位置に合わせます。



かき氷のレシピ

■マンゴー

材 料	作りかた
マンゴー……………160g 練乳……………10g 水……………30mL	① マンゴーと水を合わせミキサーにかけます。 ② 小鍋に ① と練乳を入れ弱火にかけ、練乳が溶けるまでよく混ぜます。 ③ 常温に冷まし、付属の製氷カップに入れて凍らせます。 ④ 十分に凍ったら冷凍庫から出し、すぐに削ります。

■ストロベリー

材 料	作りかた
冷凍イチゴ……………160g イチゴジャム……………30g 練乳……………10g 水……………30mL	① イチゴと水を合わせミキサーにかけます。 ② 小鍋に ① 、イチゴジャム、練乳を入れ弱火にかけ、イチゴジャムと練乳が溶けるまでよく混ぜます。 ③ 常温に冷まし、付属の製氷カップに入れて凍らせます。 ④ 十分に凍ったら冷凍庫から出し、すぐに削ります。

■抹茶

材 料	作りかた
抹茶粉……………10g 牛乳……………170mL 砂糖……………20g	① 抹茶粉と牛乳を合わせよく混ぜます。 ② 小鍋に ① と砂糖を入れ弱火にかけ、砂糖が溶けるまでよく混ぜます。 ③ 常温に冷まし、付属の製氷カップに入れて凍らせます。 ④ 十分に凍ったら冷凍庫から出し、すぐに削ります。

■リッチミルク

材 料	作りかた
牛乳……………170mL 練乳……………30g	① 小鍋に牛乳と練乳を入れ弱火にかけ、練乳が溶けるまでよく混ぜます。 ② 常温に冷まし、付属の製氷カップに入れて凍らせます。 ③ 十分に凍ったら冷凍庫から出し、すぐに削ります。

■ミルクティー

材 料	作りかた
紅茶のティーバッグ…2包 牛乳……………180mL 砂糖……………40g	① あたためた牛乳に紅茶のティーバッグを入れ、紅茶を抽出します。 ② 抽出が終わったら ① に砂糖を入れ、溶けるまでよく混ぜます。 ③ 常温に冷まし、付属の製氷カップに入れて凍らせます。 ④ 十分に凍ったら冷凍庫から出し、すぐに削ります。

■ふわふわかき氷を作るために

- 食材が分離しないようによく混ぜる
- 凍らせる前に表面の泡はできるかぎり取り除く
- 十分凍らせる
- 氷の状態やレシピに合わせて、削り具合（カッターの高さ）を調節する
- ※氷の状態やレシピにより、削れ具合が異なる場合がありますので、必要に応じて調節してください。

お知らせ

- お好みにより、できあがったかき氷にさらに練乳をかけたり、果物をトッピングしてお楽しみください。
- 水のみを凍らせてかき氷を作ることできますが、糖分を含んだ氷よりも粗く削れる場合があります。

お手入れと保管

お手入れや移動のときは、電源プラグをコンセントから抜いておこないます。
氷かき器は、食品に触れる調理器具のため、いつも清潔な状態で使用します。

※ご使用後は必ずお手入れをおこなってください。

下記(11~12ページ)を参照して各部品を取りはずし、けがなどを防止するためゴム手袋などを着用しておこなってください。

警告



氷ケース・氷押さえ・本体の取り付けや取りはずし、お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜く ● 不意に動作してけがをしたり、感電・ショートの原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

● 感電・ショート・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

本体を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない

● 故障・感電・ショート・火災の原因になります。

注意



禁止

40℃以上のお湯で氷押さえ・氷ケース・スタンド・製氷カップを洗ったり、熱い食材を入れない

● 変色・変形・破損の原因になります。



禁止

お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきんなどは使用しない

● 破損・故障・けがの原因になります。



禁止

掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹きつけない

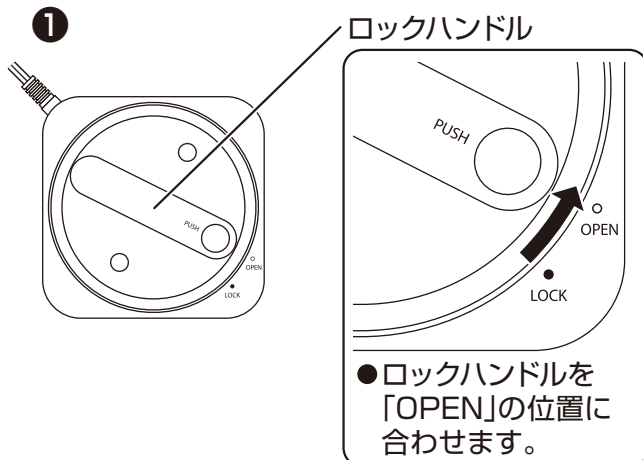
● 破損・故障・けがの原因になります。

各部品の取りはずしかた

■ 本体の取りはずしかた

① 下図を参照し、ロックハンドルを「OPEN」の位置に合わせます。

② スタンドを手で押さえ、本体を持ち上げて取りはずします。



お手入れと保管

各 부품の取りはずしかた

⚠ 警告

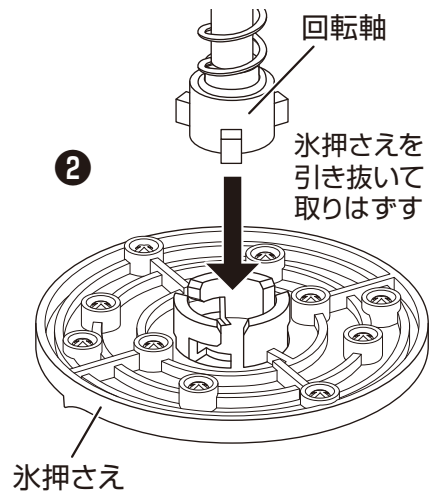
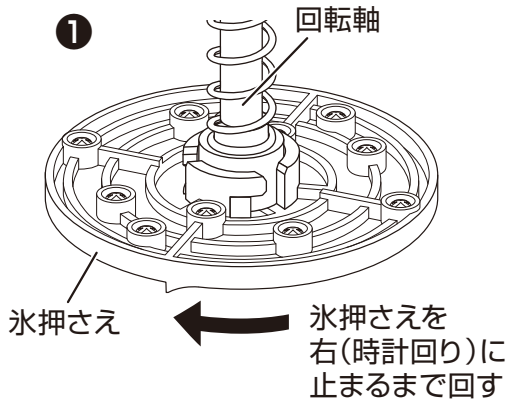


カッター刃や氷押さえのスパイクは鋭利なので直接手で触れない
●けがの原因になります。

接触禁止

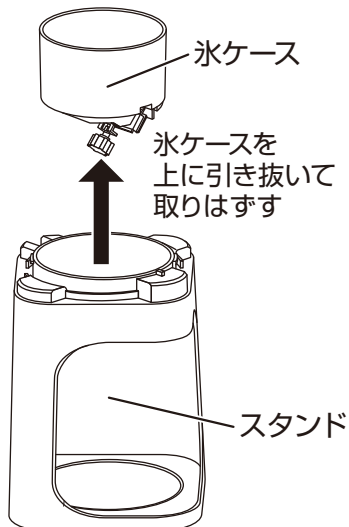
■氷押さえの取りはずしかた

- ① 本体を手でしっかり持ち、氷押さえを右（時計回り）に止まるまで回します。
- ② 氷押さえを引き抜いて取りはずします。
※氷押さえは、外周部を持って回してください。



■氷ケースの取りはずしかた

- スタンドを手で押さえ、氷ケースを上引き抜いて取りはずします。



お手入れと保管

各用品の取り付けかた

警告

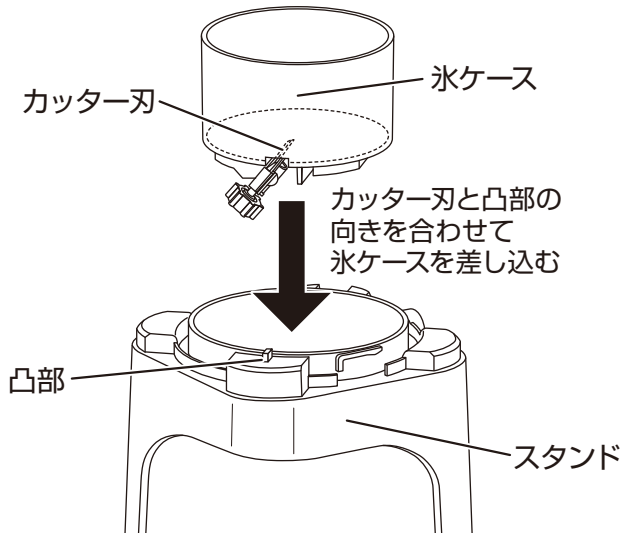


カッター刃や氷押さえのスパイクは鋭利なので直接手で触れない
●けがの原因になります。

接触禁止

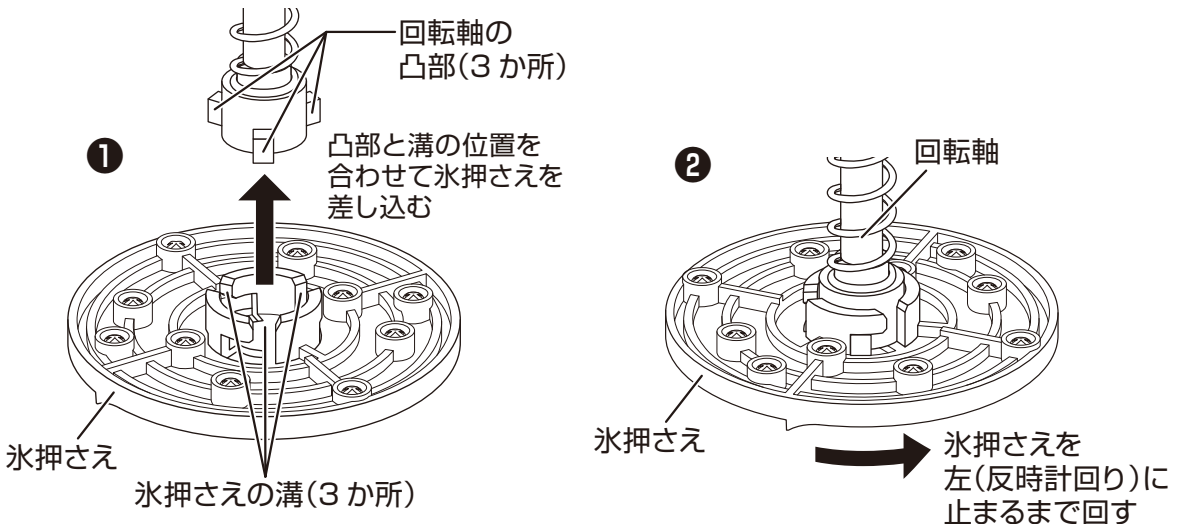
■氷ケースの取り付けかた

- 下図を参照し、スタンドの凸部に氷ケースのカッター刃側を向けて差し込みます。



■氷押さえの取り付けかた

- ①下図を参照し、氷押さえの溝（3か所）と回転軸の凸部（3か所）の位置を合わせて差し込みます。
- ②本体を手でしっかり持ち、氷押さえを左（反時計回り）に止まるまで回して、確実に取り付けます。
※氷押さえは、外周部を持って回してください。

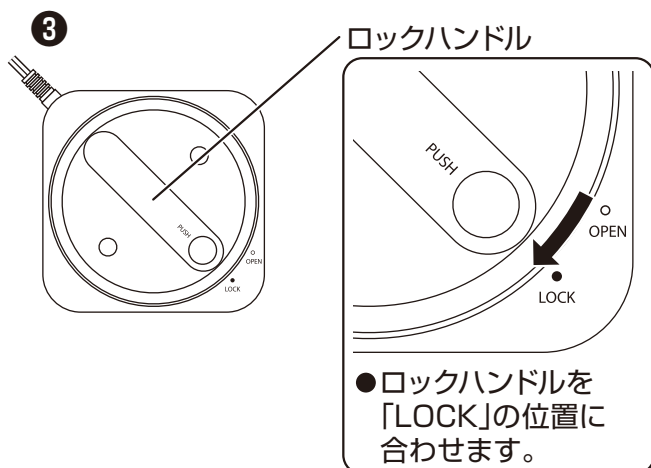
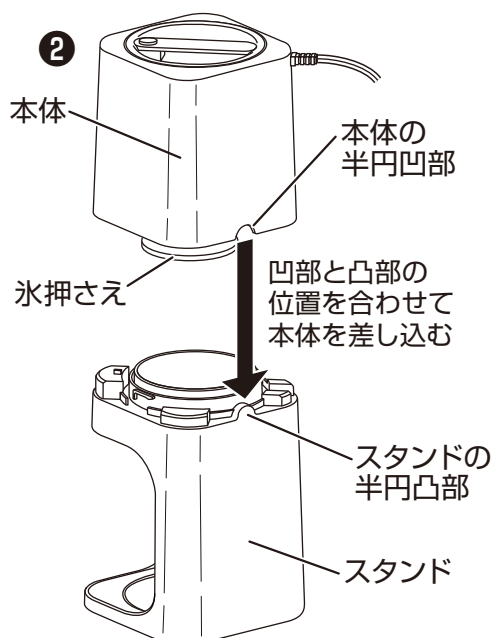
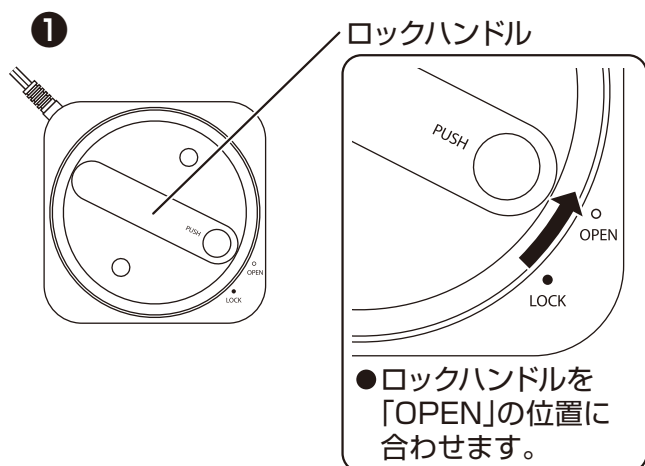


お手入れと保管

各部品の取り付けかた

■本体の取り付けかた

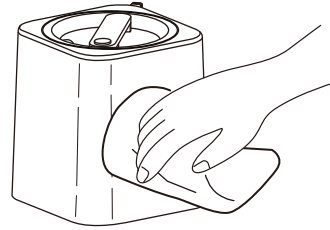
- ①下図を参照し、ロックハンドルを「OPEN」の位置に合わせます。
- ②本体を手でしっかり持ち、本体の半円凹部とスタンドの半円凸部の位置を合わせ、本体をスタンドに差し込みます。
- ③本体とスタンドが密着したら、ロックハンドルを「LOCK」の位置に合わせ本体を固定します。



お手入れと保管

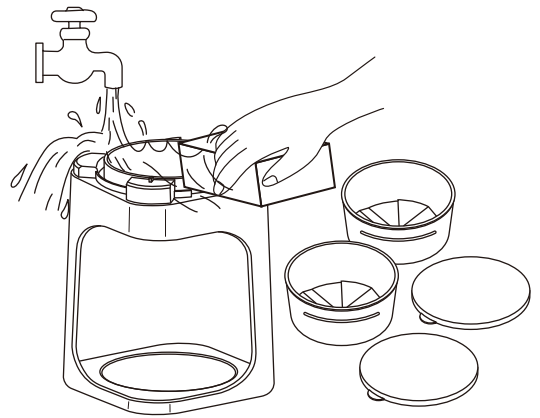
■本体 ※丸洗いは絶対しない

- 水に浸した柔らかいふきをよくしぼって汚れをふき取ります。
- 落ちにくい汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸した柔らかいふきをよくしぼってふき取り、さらに乾いた柔らかいふきで洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。



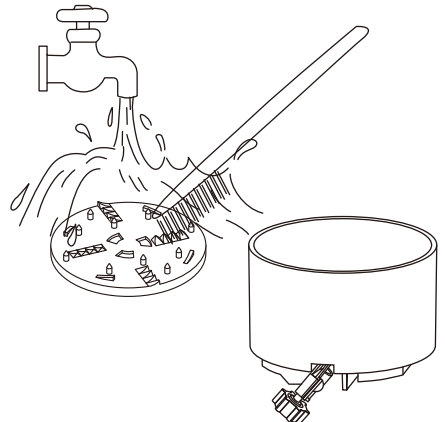
■スタンド・製氷カップ ※丸洗いできます

- 食器用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流し、乾いた柔らかいふきで水分をふき取って乾燥させます。



■氷ケース・氷押さえ ※丸洗いできます

- 食器用中性洗剤をブラシに数滴つけて水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流し乾燥させます。



警告



接触禁止

カッター刃や氷押さえのスパイクは鋭利なので直接手で触れない

●けがの原因になります。

■保管

- 保管の前は、必ずお手入れをします。
- お手入れしたあとよく乾燥させ、カッター刃に食用油をうすく塗ってから、包装ケースに納めるかポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。
(湿ったまま保管するとカビの発生や異臭・故障の原因になります)

故障かな?と思ったら 次の点検をおこなってください。

症 状	原 因	処 置
運転しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	●電源プラグを根元まで確実に家庭用コンセント (AC 100V) に差し込んでください。
	●本体とスタンドが確実に取り付けられていますか?	●本体とスタンドを確実に取りつけないと運転できませんので、確実に取りつけてください。
	●2分以上連続運転をしていませんか?	●モーターに負担がかかり安全装置がはたらいて運転できなくなっている場合があります。お買い上げの販売店に、点検・修理をご相談ください。
氷が削れない	●カッター刃が低くすぎるまたは高すぎて氷が削れない状態になっていませんか?	●8ページを参照して薄くスライス状に削れるようにカッター刃を調節してください。
	●氷ケースに削れずに残った氷が入ったまま、新しい氷を入れていませんか?	●残った氷を必ず捨ててから新しい氷を入れてください。
	●氷押さえがカラ回っていませんか?	●一度スタンドから本体を取りはずし再度取りつenaおしてください。
	●十分に凍っていない状態で削っていませんか? または柔らかくなった氷を削っていませんか?	●糖分が多いと凍りにくく溶けやすいので、うまく削れないことがあります。そのような場合は、時間をかけて十分に凍らせるか、糖分を減らして氷を作り冷凍庫から取り出したら、すぐに削ってください。
	●市販のロックアイスや家庭用冷凍庫の製氷皿で作った角氷を入れていませんか?	●本製品では削れません。
ふわふわに削れない	●カッター刃の高さを調節していますか?	●8ページを参照して薄くスライス状に削れるようにカッター刃を調節してください。
	●氷ケースとカッター刃のすき間に削った氷が詰まっていますか?	●氷ケースを取りはずし、詰まった氷を取り除いてから再度削ってください。
	●水だけで凍らせた氷を使っていますか?	●水だけの氷は糖分を含んだ氷よりも粗く削れる場合があります。
モーターの回転が遅い モーターがうなる ような運転音がする	●カッター刃が高すぎて粗く(厚く)削りすぎていませんか?	●8ページを参照して薄く削れるようにカッター刃を調節してください。 ※うなるような運転音がしたまま運転を続けると故障の原因になります。
	●カッター刃が高すぎて氷が回らない状態になっていませんか?	
スタンドに本体を取りつけることができない	●付属の製氷カップ以外で作った氷を使用していませんか?	●必ず付属の製氷カップで作った氷を使用してください。
	●氷ケースに削れずに残った氷が入ったまま、新しい氷を入れていませんか?	●残った氷を必ず捨ててから新しい氷を入れてください。
振動が大きい	●回転軸が変形していませんか?	●お買い上げの販売店に、点検・修理をご相談ください。

仕 様

電 源	AC 100V 50-60Hz共用
消 費 電 力	25W
定 格 時 間	2分
製 品 寸 法(約)	幅:155mm×奥行:155mm×高さ:350mm (コードブッシュ含まず)
製 品 質 量(約)	1.4kg
コ ー ド 長(約)	1.2m
安 全 装 置	電流ヒューズ

※製品の仕様や外観などは改善などのため、予告なく変更する場合があります。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか？

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い。
- 電源コード、電源プラグに深い傷や変形がある。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- こげくさいにおいがする。
- 器具に触れるとピリピリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

- 電源プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。

★異常があれば

ご使用中止!!

故障や事故防止のため、運転を停止し電源プラグをコンセントから抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

ほこりやごみを取り除いてください。

アフターサービスについて

- 本製品は、保証書が付いています。
お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入を受けてください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。
保証期間中の修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。
保証書の記載内容により、修理いたします。
その他詳細は、保証書を参照してください。
- 保証期間経過後の修理（有料）については、お買い上げの販売店に、依頼してください。
- 本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために、必要な部品です。
- サービスパーツについて
製氷カップなどのサービスパーツについては、お買い上げの販売店に、お問い合わせください。

■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取り扱いや、お手入れ方法のお問い合わせ、転居されたり贈答品などで、販売店に修理の依頼ができない場合は、右記へお問い合わせください。

FAXまたはEメールでのお問い合わせも受け付けています。
その際は、製品名、品番、お問い合わせ内容、お名前、電話番号を記入のうえ、お問い合わせください。

「山善 家電お客様サービス係」

ダイヤル  0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からは、利用できません。
受付時間：10：00～17：00（土、日、祝日を除く）

●FAXでの  お問い合わせは  0120-680-287

●Eメールでの  お問い合わせは info_m@yamazen.co.jp

個人情報の取り扱いについて
株式会社 山善およびその関係会社は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容を、お問い合わせへの対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせのときは、保証書に記載の製品名、品番をお知らせください。

S-211221

MEMO

Horizontal dashed lines for writing.